

科目ナンバー： 研究・CNS：MC4023／助産：MmC4023

授業コード： 6630400200

講義科目名称： 小児看護学援助論 I

英文科目名称： Child and Family Health Nursing I

開講期間	配当年	単位数	科目必選区分
通年	1・2学年	2単位	選択
担当教員			
◎大久保明子			
添付ファイル			

授業種類	【開講】 通年	【授業時間】 30時間		
	【担当教員】 【氏名】 ◎大久保 明子	【所属】 新潟県立看護大学	【研究室】 207	【メールアドレス】 ohkubo@niigata-cn.ac.jp
	【本学の科目区分】 専門分野			
	研究 CNS 助産	【DP1】 ◎	【DP2】 ○	【DP3】 ○
		【DP4】 ○	【DP5】 ○	

到達目標	1. 小児期の成長・発達に関する理論を説明できる。 2. 小児看護における発達支援・家族支援の理論的根拠を理解する。 3. 小児看護実践を理論的に分析・検討できる。
------	--

授業概要	小児期における成長・発達の特性を理解し、子どもと家族への看護援助を理論的に探究する。健康な子どもの発達支援から、慢性疾患や障がいのある子どもの生活支援まで、発達段階に応じた看護の理論的枠組みを学び、実践への応用を考察する。
------	---

授業計画	<p>1 授業内容 授業形態：講義・討論 学修課題：小児看護学援助論の目的と展望 学修内容：小児看護の概念、歴史的変遷、現代的課題 事前学修：小児看護の専門誌論文を1本読み、看護援助論との関連を整理する 事後学修：本授業の要点をまとめ、自身の研究テーマとの関係を整理する 備考：大久保</p> <p>2 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：成長・発達理論の基礎 学修内容：発達心理学、行動科学、エリクソン理論などの整理 事前学修：発達理論の主要概念を事前にまとめる 事後学修：各理論の看護実践への適用可能性を検討する 備考：大久保</p> <p>3 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：健康な子どもの発達支援 学修内容：乳幼児期から学童期の健康発達の支援 事前学修：子どもの成長指標・健康診査内容を確認する 事後学修：健康発達支援の看護介入を理論的枠組みで分析する 備考：大久保</p> <p>4 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：思春期の発達課題と看護 事前学修：思春期の心理社会的課題について文献検索する 事後学修：思春期支援の事例を理論的に分析する 備考：大久保</p> <p>5 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：子どもと家族の関係性 学修内容：アタッチメント理論、家族システム論 事前学修：家族システムの基礎を予習する 事後学修：家族支援の理論的枠組みを整理する 備考：大久保</p> <p>6 授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：家族看護の理論的基礎 学修内容：ファミリーセンタードケアの理念と実践</p>
------	---

7	<p>事前学修：家族看護の概念モデルを学習する 事後学修：自身の臨床経験を家族看護モデルで再解釈する 備考： 大久保</p> <p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：小児の健康と疾病構造 学修内容：現代の小児保健動向、疾病の特徴 事前学修：小児の主要疾患の疫学を確認する 事後学修：疾病構造の変化が看護実践に与える影響を考察する 備考： 大久保</p>
8	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：慢性疾患児の発達と生活支援 学修内容：慢性疾患児の成長発達、自己管理支援 事前学修：慢性疾患児看護に関する文献を1本読む 事後学修：支援モデル（トランジション理論など）を用いて事例分析する 備考： 大久保</p>
9	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：医療的ケア児支援と社会制度 学修内容：医療的ケア児支援法・教育・福祉制度 事前学修：関連制度の概要を調べる 事後学修：制度を活用した看護支援の提案を作成する 備考： 大久保</p>
10	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：障がい児と家族の生活 学修内容：障害受容とレジリエンスの理論 事前学修：「家族のレジリエンス」に関する文献を読む 事後学修：支援の理論的視点をレポートにまとめる 備考： 大久保</p>
11	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：入院中の子どもの権利と看護 学修内容：子どもの権利条約・インフォームドアセント 事前学修：権利擁護に関する国際的動向を確認する 事後学修：実践での権利擁護の課題を事例で検討する 備考： 大久保</p>
12	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：小児看護における倫理的課題 学修内容：侵襲的処置・終末期・意思決定支援 事前学修：倫理原則（自律・善行・無害・正義）を復習する 事後学修：倫理的課題を理論的に分析し、看護対応を検討する 備考： 大久保</p>
13	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：小児看護における理論モデル 学修内容：小児看護モデルの比較（Meleis理論など） 事前学修：各理論の特徴を整理する 事後学修：自身の研究テーマに適した理論モデルを選択する 備考： 大久保</p>
14	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：小児看護援助の評価 学修内容：アウトカム評価、質指標、エビデンス 事前学修：看護介入の成果評価法について整理する 事後学修：評価指標を用いて介入の有効性を検討する 備考： 大久保</p>
15	<p>授業内容 授業形態：プレゼンテーション・討論 学修課題：統合と展望 学修内容：学びの振り返り、研究課題の方向性 事前学修：自身の研究テーマに関連する課題を整理する 事後学修：小児看護学援助論の今後の課題をまとめる 備考： 大久保</p>
事前・事後学習	
評価方法、評価基準	到達目標 1, 2, 3 に対して、プレゼン資料作成（50%）、プレゼンテーションと討論（50%）で評価する。
テキスト	適宜、提示する。
参考図書・資料等	牧本清子, 山川みやえ (2020) : 研究手法別のチェックシートで学ぶ よくわかる看護研究論文のクリティーク, 第2版, 日本看護協会出版会.
受講、課題、資料配布等のルール	欠席の場合は必ず担当教員に事前に連絡をする。 プレゼンテーションを行う学生は、授業前に人数分をコピーする。
教員からのメッセージ	小児看護に関するたくさんの文献を読み、自己の研究課題の明確化につなげていきましょう。

オフィスアワー

事前にメール等で予約をしてください。